

キリストの光のキリスト

年間第13主日 6月28日 (聖ペトロ使徒座への献金)

(マルコ5・21-43 または 5・21-24、35b-43)

「あなたの信仰があなたを救った」。イエスの言葉。

救うのは神ではないのか。わたしの信仰がわたしを救うのか。

信仰が強いとか、熱心な信仰という表現をよく聞く。どうい

ことだろうか。熱心な信仰。強い信仰。どんな信仰なのだろうか。

よく教会に来る。よくミサに参加する。よく祈りをする。よく教会活動に参加する。行いが正

しい。教会の勧めに忠実で素直。目に見える行動で人は人の信仰の度合いを計っているようだ。

自分の信仰についても同じかもしれない。自分は教会にはあまり行かない。ミサにはほとんど参加しない。祈りなどしたこ

とはない。教会活動にはまったく参加しない。悪いことをしている。自分是不熱心で不信心。自分の信仰は弱い。熱心にはなれない。強くはなれない。あきらめにも似た気持ちはずっと続く…。

どんな信仰？

イエスに近づくと何かが起こる。イエスに近づけば何かが変わる。会堂長のヤイロという名の人

がイエスのところに来る。死にそうなる娘のことで。娘に手を置いてやってくださいと願う。イエス

に触れられて娘は癒やされる。十二年間も出血の止まらない女性が群衆に紛れ込み、後ろ

からイエスの服に触れる。この人に触れれば癒やされると思っ

て。彼女は癒やされる。イエスに

近づいてイエスに触れる。そこに救いがある。

そう思い、そうすること。それが信仰ではないか。

「あなたの信仰があなたを



救った」。イエスの言葉。

幼児洗礼式をした。最近の赤ちゃんはしっかりと反応する。名前を呼ぶと「アー」と返事をする。水をかけるとピク

ツと反応して、かけ終わると安心したかのようにかわい

い。あくびをする。ミサの間、祭壇をじつと見つめる。頭に手を置いて祝福するととても

うれしい顔をする。「この人」は分かっている。イエスに触れ

られて癒やされることが。手術を前にして病者の塗油を希望し、高齢の方が教会

にきた。曲がった腰。車を押しながら教会のスロープを上

っていく。ゆるしの秘跡、病者の塗油の秘跡、聖体の秘跡

を受ける。イエスのところに

来て、触れられ、そして癒やされる。帰る時、腰をまっすぐに

して「安心した。もう病院に

行かなくていいみたい」と笑いながら言った。

イエスに近づくだけなのに。癒やされたいと自分をイエス

の前に投げ出すだけなのに。それがなかなかできない。そ

うすれば癒やされるのに。信仰はもつともつと単純な

ものだと思うのだが。
(山元眞一福岡教区司祭／カット＝高崎紀子)

今週の福音

7月

29日・月	マタイ 16・13—19
30日・火	マタイ 8・23—27
1日・水	マタイ 8・28—34
2日・木	マタイ 9・1—8
3日・金	ヨハネ 20・24—29
4日・土	マタイ 9・14—17